## 令和5年度 事後評価シート

## 【事務事業シート(政策的経費)】

	<b>尹</b>	業 :	シー	<u>-                                    </u>	政策的経費)												
当初	ılını	事	項	知的	財産戦略推進資	貴						予算	主管課	総合政策課			
	1	<u> </u>	業	県知	的財産戦略をF	円滑に推	 進するため、県	試験研	 究機関における	知的財	産権の積	始	期	H19			
	Ι.	-					に、県民に対し					 終期		_			
	H				・ ・権の出願に係る県内発明者数の対人口比												
												<del></del>		 R 8 年 度			
				KPI種別 時点・期間	上がると良い指 R3年		R 5 年 度 <sub>時点・期間</sub> R5年		R 6 年 度 <sub>時点·期間</sub> R6年		R 7 年 月 時点·期間 <b>R7年</b>		時点·期間				
	K	Р	I	P. W. P. W. D.	<u></u>	目標値		目標値	0.33 <mark>%</mark>	目標値		0/2	目標値	0.36 %			
				現状値	0.31 %			実績値	%	実績値	0.54	%	実績値	0.30 % %			
				- July (IE		達成率		達成率	%	達成率		%	達成率	%			
	H					最終現計予		最終現計予	·····································	最終現計予		千円	最終現計予算額	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
					スト	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円			
	t									77 (3-1-1)(		113	77,941,7	113			
													に拡大して実施するな				
5 年 度					ど、啓発活動の強化が発明者数の増加につながっているものと考えられる。												
	要因分析																
					総括(事業最終年度の場合、要記入。)												
	H					 見直し内	  容の説明(維持・/	 廃止・改	 z善・大幅見直し(	事業組	 替等))						
						令和5年の目標値を達成しており、令和5年からは若年層の知的財産セミナーの対象を拡大したところであることだ											
						ら、令和	6年度の執行方法や	97年度	予算の見直しは想象	定してい	ない。						
		9 <del>. d</del> =	, 4	— <del>(                                   </del>	<b>4#+</b> +												
	<sup>5</sup>	己旦	<i>О</i> .	前性	維持												
当初	-	事	項	科学	技術振興事業資							予算:	主管課	総合政策課			
	ŀ,	<u> </u>	٠	IBINA		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Z /	+.4%_A	51-1#\#\ <del></del>	-=九二	+ ±\\ <del>2\\</del> ++',4\ <sup>-</sup>	b台	 ·期	H13			
		_			学技術振興指針の策定を受け、科学技術行政を総合的に推進するために設置した科学技術  会議を運営し、本県における科学技術振興への総合的、多面的な取組みを進める。												
											, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	終期 		-			
				科学	技術振興会議	平価専門	部会における研	究課題	事前評価の件数								
				KPI種別	上がると良い指		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 5	<b>芰</b> ————		R 8 年 度			
	K	( P I	I	時点・期間	R4年度 ————————————————————————————————————		R5年度		R6年度	時点·期間		***		R8年度			
						目標値		目標値	22 件	目標値	23		目標値	24 件			
				現状値	20 件			実績値	件	実績値		件	実績値	件			
	L					達成率		達成率	%	達成率		%	達成率	%			
					スト	最終現計予 算額	1,444 十円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円			
						決算額		決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円			
							%未満」の場合、要	,									
	本事務事業のKPIについては、各試験研究機関における研究予算や研究課題の多寡にも依存す																
	で、各試験研究機関が当該年度の研究課題の選定を行った結果として、事前評価に諮る研究課題が前年度と										4価に諮る研	究課題か	前年度と!	比して減少したことだ			
		要	因ケ	孙	2712220070			 総括(事業最終年度の場合、要記入。)									
		要	因分				 合、要記入。)										
		要	因分				合、要記入。)										
5		要	因分				 合、要記入。)										
5 年		要	因分				合、要記入。)										
_		要	因分		総括(事業最終な	年度の場合	合、要記入。)    容の説明(維持・)	廃止・改	マ善・大幅見直し(	事業組積	<b>替等))</b>						
年		要	因分		総括(事業最終	年度の場合	・  容の説明(維持・)					₹民・産業	学の二一	ズの的確な把握、県			
年		要	因分		総括(事業最終	手度の場が 見直し内 本県にお への説明	  容の説明(維持・)    古る科学技術の振り  責任の確保、評価	興に向け 結果の反	て、その進捗管理 で映による高度な試	を行う。験研究の	とともに、県 の推進を図る	るため、外	部有識者	による試験研究課題の			
年					総括(事業最終な	手度の場合 見直し内 本県にお への説明 外部評価	容の説明(維持・月日の説明(維持・月日の記明(維持・月日の記明(維持・月日の記録では、評価を表します。   では、 には	興に向い 結果の反 あること	て、その進捗管理 映による高度な試 から、令和6年度し	を行う。 験研究の 以降も本	とともに、県 の推進を図る 、事務事業を	るため、外 維持する	部有識者。なお、ス	による試験研究課題の 本事務事業は科学技術			
年					総括(事業最終な	東度の場合 見直した 本の説明 外部評価 振興会議	容の説明(維持・月日の説明(維持・月日の記明(維持・月日の をまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	興に向け 結果の反 あること 適切に運	て、その進捗管理 映による高度な試 から、令和6年度り 営するものであり	を行う。 験研究の 以降も本 、KPIに	とともに、県 の推進を図る 事務事業を こ設定してい	るため、外 維持する る事前評	部有識者。なお、ス	ズの的確な把握、県民 による試験研究課題の 本事務事業は科学技術 対応できる体制は確係			
年					総括(事業最終な	東度の場合 見直した 本の説明 外部評価 振興会議	容の説明(維持・月日の説明(維持・月日の記明(維持・月日の記明(維持・月日の記録では、評価を表します。   では、 には	興に向け 結果の反 あること 適切に運	て、その進捗管理 映による高度な試 から、令和6年度り 営するものであり	を行う。 験研究の 以降も本 、KPIに	とともに、県 の推進を図る 事務事業を こ設定してい	るため、外 維持する る事前評	部有識者。なお、ス	による試験研究課題の 本事務事業は科学技術			
年					総括(事業最終な	東度の場合 見直した 本の説明 外部評価 振興会議	容の説明(維持・月日の説明(維持・月日の記明(維持・月日の をまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	興に向け 結果の反 あること 適切に運	て、その進捗管理 映による高度な試 から、令和6年度り 営するものであり	を行う。 験研究の 以降も本 、KPIに	とともに、県 の推進を図る 事務事業を こ設定してい	るため、外 維持する る事前評	部有識者。なお、ス	による試験研究課題 本事務事業は科学技術			
年					総括(事業最終な	東度の場合 見直した 本の説明 外部評価 振興会議	容の説明(維持・月日の説明(維持・月日の記明(維持・月日の をまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	興に向け 結果の反 あること 適切に運	て、その進捗管理 映による高度な試 から、令和6年度り 営するものであり	を行う。 験研究の 以降も本 、KPIに	とともに、県 の推進を図る 事務事業を こ設定してい	るため、外 維持する る事前評	部有識者。なお、ス	による試験研究課題 本事務事業は科学技術			